

ボールパーク誘致市民説明会（大曲地区会場） 【質疑応答記録】

日時：平成 30 年 2 月 21 日（水） 18：30～20：00

会場：ふれあい学習センター サークル活動室

- 市民からの質問、意見
- 市の回答

- 国道 36 号線から北広島団地地区内への通行量も増えると思うのですが、そういった道路について拡幅などの考えはあるのでしょうか。
 - 団地地区内の道路の拡幅などは考えておりませんが、住宅地内の交通量を分散させる検討は必要だと認識しています。
- 北海道全体での経済効果の試算が紹介されましたが、北広島市内の経済効果はどのように見込んでいるのでしょうか。
 - 詳細の額のお示しはできませんが、札幌市内に立地した場合、北広島市内の経済効果はあまり期待できないことに対し、当然北広島市に立地された場合は大きな効果が期待されます。また、北広島市に立地された場合は、近隣市町村を含めてより広域的に経済効果が波及するという調査報告を聞いています。
- 固定資産税などの免除期間が終了したら、また別の場所に移るなどの議論がされるのではと不安に思っています。
 - これまでの実務者協議の中で一番時間をかけたのは、将来のビジョンをお互いにどう描くかという部分です。立地が決まってからが本格的なスタートと考えていますが、将来にわたって互いが発展していけるための協議を、引き続き進めていきます。
- 以前、大規模な集客施設の近くに住んでいたことがあります。住環境が悪くなく、常に苦情が出ていました。最初の段階から周辺環境の整備を行っていないと、大きな問題になると思っています。
 - 候補地周辺地区での説明会では、住環境への不安の声が多く挙がりました。大曲地区の商業施設近隣の渋滞状況等も認識していますが、良好な住環境の確保は、一番大事にしていきたいと思っています。
- 新駅は請願駅との説明でしたが、整備費はどの程度を見込んでいますか。
 - 駅の規模にもよるのではっきりした金額はお示しできませんが、多方面と協議し、多様な手法で財源を確保する検討をしていきます。

- 新駅ができた場合とできなかった場合とでは、交通アクセスの整備に変わりは出るのでしょうか。
 - ➔ 現在の整備の考え方は、新駅ありきで考えているものではなく、どの場合でも必要との認識がありますので、まずは今日お示しした整備を進めることを考えています。

- 開業までに長い時間がかかると思いますが、途中で財政状況が悪化した際に、市民の負担が生じることは考えられますか。個人的には、特別な寄付制度などがあってもいいと思っています。
 - ➔ 長期的な財政推計を行っていますが、整備に伴う住民税の引き上げなどは全く考えていなく、実施できると判断できる範囲の中で協議をしています。寄付の話は大変ありがたいことですが、それを市が強制的に求めるような考えはありません。

- 現在大曲からバイクで札幌ドームに通っていますが、特に帰りに不自由を感じています。バイクや自転車で新球場へ通う市民も多いと思いますので、自家用車や公共交通機関以外での来場者への配慮もお願いしたいです。
 - ➔ 多様な手段での来場を想定することは重要な部分であり、近隣住民の来場方法への対応も球団と共に検討していきます。また、ハード面だけではなく、来場者が一斉に退場しないソフト的手法も、球団と十分協議し、検討していきます。

- NPO 団体で、エネルギーシステムなどについて研究しています。新球場の機能などに対して自分たちが提案できる場はあるのでしょうか。
 - ➔ 北広島市に立地が決まった際には、新たに市民の皆さんと対話できる機会を球団も交えた形で設けていきたいと考えています。

- 誘致に関する考え方、立地された場合の想定などを説明してもらいましたが、市民の一番の関心事は、ファイターズが北広島に来るのか来ないのかだと思います。実際のところどのような状況なのでしょう。
 - ➔ 候補地それぞれに一長一短があるのは事実だと思います。私たちも最終的なことはわかっていませんが、是非という思いで誘致しており、そのスタンスを基にして説明会を実施させていただいています。また、このような場が、球団へ市民の皆様の声を届ける機会にもなっていると認識しています。

- 大曲方面から新球場候補地へ行く道は実質一本しかないと思っています。JR を使える地区ではない人のアクセスも十分検討してもらいたいです。
 - ➔ 近郊を含め、多方面からのアクセスは大変重要なことだと思っています。十分検討していきます。

- 個人的には誘致に反対する市民はいないと思っていますが、今日の説明会も含め、このような場に集まるのは高齢者が多い気がします。若い人たちの意見を聞けるようなアプローチの仕方も必要なのではないのでしょうか。
 - ➔ 皆様それぞれに様々なライフスタイルがあることは認識しており、同時に多世代の声を聞くことも大変重要なことだと思っています。ご指摘いただきましたように、特に北広島市に立地が決まった際には、あらゆる手段を講じていけるよう検討していきます。

- 北広島市にボールパークができたからといって、人口が安定して増えるとは思えません。大曲地区で育った子どもたちも、成人し地元を離れていくことが多いです。誘致と並行して、JR 駅から大曲方面のアクセスを充実させるなど、いつまでも住みよいと感じられるまちづくり政策も必要だと思えます。
 - ➔ 若者の市外（特に札幌）への流出は市の大きな課題となっており、中でも札幌市に隣接する大曲地区においてその傾向は顕著です。ボールパークが、位置的にも心理的にも北広島市の中心となり、分散する各地区をつなぐ存在となるようなまちづくりを目指していきたいと考えていますが、同時に、現在の交通体系等の見直しも進めていきたいと思っています。

- 今回の誘致に関する情報は、どこで得られますか。大きな関心事でもあるので、市民が手軽に情報を得る手法も検討してもらいたいと思います。
 - ➔ 市のホームページにおいて、誘致に関する情報を逐次掲載しています。立地が決まった際は、その後の進捗状況などをリアルタイムでお知らせできるような手法を検討していきます。

- 北広島市内に水源はないと聞いていますが、大規模施設が立地された場合の水量の確保は大丈夫なのでしょうか。
 - ➔ 市外の水源から供給してもらっていますが、まだ十分な余力があり、問題ないと認識しています。

- 市民参加の場面として、ボランティア団体等を組織していくことはあるのでしょうか。
 - ➔ 開業後の運営等に関しては当然のことと思いますが、整備していく段階からも、市民や各種団体が協働できる取り組みを球団と共に考えていきたいと思っています。

- エルフィンロードやレクの森など、周辺には自然と親しむ施設が多くあります。そのような施設は残してほしいですし、可能であれば、ボールパーク立地を機にさらに自然と触れ合えるようになればいいなと思っています。
 - ➔ 北広島市の自然環境は、球団としても大きな資源であると認識していることをこれまでの協議で確認しています。市として、自然と共存していく施設を求めていきたいと思っています。

- 冬季の集客策として、雪と触れ合えるような施設機能を持つ考えはありますか。
 - ➔ 冬期間の施設活用案は球団からいくつか公表されていますが、雪と触れ合うというのは北海道の施設の大きな魅力であると考えられますので、そういった視点も伝えていきたいと思います。

- アクセス道路の新設は、2本では足りないのではと思います。また、信号動作などの道路環境を整備する必要性も感じます。
 - ➔ 特にピーク時には、渋滞が全くない状態にはならないと想定されます。しかし、既存道路の拡幅、アクセス道路の新設などにより、生活に支障のない範囲の渋滞に留めることができるとこれまでの調査から導いており、またそのレベルを確保するために必要な対策は逐次とっていきたいと考えています。

- 実際に立地場所が発表されるのはいつなのでしょう。決まっていない段階で説明会を行っても、期待だけ膨らみ、立地されないとなった場合の落胆も大きいと思うのですが。
 - ➔ この時期になってしまいましたが、誘致の経緯やこれまでの協議内容、市の考え方を市民の皆様にお伝えすることは必要であると判断し、今日の説明会等を実施させていただきました。3月には一定の方向性が出ると伝えられていますので、その後はさらに膝詰めで、皆様と対話する場を設けたいと考えています。